

## 燃料棒

### 燃料棒 ねんりょうぼう

原子炉に装荷される燃料には、液体状の燃料、固体状の燃料がある。しかし、現存する原子炉のほとんどが固体状の燃料を使用している。さらに、この固体状の燃料には、棒状燃料、板状燃料等があり、特に円柱形棒状に成形加工した燃料を燃料棒という。例えば、発電用原子炉の代表である軽水炉（PWR 型、BWR 型）で使用される燃料は棒状で、核分裂性物質としてU-235を3～4％に濃縮したウランの酸化物（UO<sub>2</sub>）を焼き固め、ペレット状にしてジルコニウム合金製の被覆管に充填し、全長4.1～4.5 m、外径0.95～1.4 cm の燃料棒に仕上げる。この燃料棒を多数組合わせて燃料集合体を作られる。原子炉の型式、運転条件等によって、ウラン濃縮度、ペレット形状、寸法などが異なる。

---

<登録年月>  
1998年01月

---

---